

算数科の目標	
<p>・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</p>	
<p>・具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。</p>	
<p>・具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。</p>	
<p>・具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>	

学習すること	
前期	○ わかりやすく あらわそう [ひょうと グラフ]
	○ 時計を生活に生かそう [時こくと 時間]
	○ たし算のしかたを考えよう [たし算の ひっ算]
	○ ひき算のしかたを考えよう [ひき算の ひっ算]
	○ 長さを はかろう [長さの たんい]
	○ 100 より 大きい 数を しらべよう [3けたの数]
後期	○ 水の かさを はかろう [水の かさの たんい]
	○ 計算のしかたをくふうしよう [計算の くふう]
	○ ひっ算のしかたを考えよう [たし算と ひき算の ひっ算]
	○ 形をしらべよう [三角形と 四角形]
	○ 分けた大きさをあらわそう [分数]
	○ 新しい計算を考えよう [かけ算(1)]
後期	○ 九九をつくろう [かけ算(2)]
	○ 1000 より 大きい 数を しらべよう [4けたの数]
	○ 長さを はかろう [長いものの 長さの たんい]
	○ 図をつかって考えよう [たし算と ひき算]
○ はこを作ろう [はこの形]	
○ 2年のふくしゅう	

算数科の評価

算数科では四つの観点で評価します。			
算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとする。知識や技能などを進んで用いようとする。	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考えたり工夫したりしている。	整数の計算をしたり、長さや体積などを測定したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味や表し方、整数の計算の意味、長さや体積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。
・次のような方法で見えていきます。			
発言内容	ノートのとめ方	プリント	ドリル
作りテスト	長さの計測	学習態度	練習問題
			取り組む様子
			作品